

自治体の現状と課題

中学校数	111校	生徒数（5/1現在）	49,812人
運動部活動数	566部	担当課	部活動振興課
コーディネーターの人数	0人	市町村の方針	地域連携
運営団体	教育委員会（部活動）・地域クラブ（土日クラブ活動）		
地域移行した種目	※1 2,348（土日地域クラブ活動の活動数）		
地域指導者の人数	※1 506人	地域指導者への謝金の金額	団体ごとに設定円/時
地域クラブへの参加費	団体ごとに設定 円/月	部活動の休日の活動回数	※2 0回/月
部活動指導員の人数	外部顧問 309人	部活動指導員の報酬	2,316円～2,334円/時
外部指導者の数	外部指導者 82人	外部指導者への謝金の金額	3,240円/回

※1 (10/4～1/6) 時点 運動・文化活動の総数

※2 大会等の参加を除く

名古屋市では、令和7年10月から、休日（土・日曜日）の部活動を見直し、活動は大会参加等のみとする。これに併せ、中学校施設を開放し、様々な主体によるクラブ活動を誘致する。

→ 名古屋市における土・日曜日のクラブ活動の実施

平日の部活動については、今後、国の動向や休日の活動・地域人材の状況を踏まえ、地域活用を含めた見直しの検討を行うが、当面は、活動時間・日数の見直しに加え、外部人材の拡充等により、教員の負担軽減と指導者の育成を図る。
※ 祝日（土・日曜日を除く）は平日として扱う。

地域移行・地域連携の取組・成果

・生活困窮者への支援

市立中学校に在籍する生徒の保護者であって、名古屋市の就学援助の認定を受けている方を対象に、参加費等について年間12,000円を上限に補助

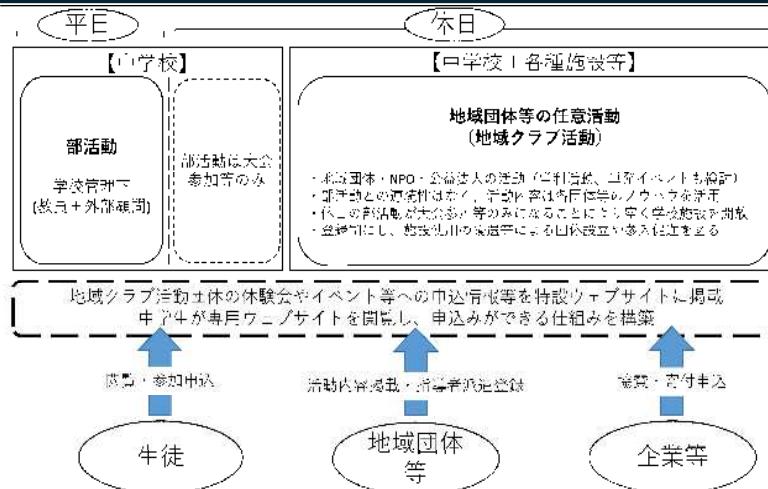
・兼職兼業の基準

勤務校の属する中学校区（中学校ブロック）での活動に従事することは不可。
土・日曜日のどちらかの活動しか従事は認められない。
勤務校の校長の了承を得たうえで、兼職兼業先からの依頼状等を添え、兼職兼業願と副本を委員会に提出し、許可を得る必要がある。

・指導者研修

全ての指導者等が、委員会が指定する研修動画を視聴し、確認テストを受講。

運営体制図



自治体の現状と課題

中学校数	111校	生徒数（5/1現在）	49,812人
文化部活動数	239部	担当課	部活動振興課
コーディネーターの人数	0人	市町村の方針	地域連携
運営団体	教育委員会（部活動）・地域クラブ（土日クラブ活動）		
地域移行した種目	※1 2,348（土日地域クラブ活動の活動数）		
地域指導者の人数	※1 506人	地域指導者への謝金の金額	団体ごとに設定円/時
地域クラブへの参加費	団体ごとに設定円/月	部活動の休日の活動回数	※2 0回/月
部活動指導員の人数	外部顧問 89人	部活動指導員の報酬	2,316円～2,334円/時
外部指導者の数	外部指導者 32人	外部指導者への謝金の金額	3,240円/回

※1 (10/4～1/6) 時点 運動・文化活動の総数

※2 大会等の参加を除く

名古屋市では、令和7年10月から、休日（土・日曜日）の部活動を見直し、活動は大会参加等のみとする。これに併せ、中学校施設を開放し、様々な主体によるクラブ活動を誘致する。

→ 名古屋市における土・日曜日のクラブ活動の実施

平日の部活動については、今後、国の動向や休日の活動・地域人材の状況を踏まえ、地域活用を含めた見直しの検討を行うが、当面は、活動時間・日数の見直しに加え、外部人材の拡充等により、教員の負担軽減と指導者の育成を図る。
※ 祝日（土・日曜日を除く）は平日として扱う。

地域移行・地域連携の取組・成果

- 生活困窮者への支援
市立中学校に在籍する生徒の保護者であって、名古屋市の就学援助の認定を受けている方を対象に、参加費等について年間12,000円を上限に補助
- 兼職兼業の基準
勤務校の属する中学校区（中学校ブロック）での活動に従事することは不可。
土・日曜日のどちらかの活動しか従事は認められない。
勤務校の校長の了承を得たうえで、兼職兼業先からの依頼状等を添え、兼職兼業願と副本を委員会に提出し、許可を得る必要がある。
- 指導者研修
全ての指導者等が、委員会が指定する研修動画を視聴し、確認テストを受講。

運営体制図

